



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月3日

上場会社名 東洋ゴム工業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5105 URL <http://www.toyo-rubber.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中倉 健二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長

(氏名) 久世 哲也

TEL 06-6441-8801

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	70,352	△2.5	3,155	20.8	2,553	82.4	853	14.8
23年3月期第1四半期	72,162	15.7	2,612	—	1,399	—	743	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 3,400百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,281百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3.36	—
23年3月期第1四半期	2.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	324,895	81,961	24.4
23年3月期	305,290	79,607	25.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 79,407百万円 23年3月期 77,534百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	151,000	5.3	3,800	△7.0	2,900	33.1	1,400	44.9	5.51
通期	322,000	9.5	7,700	△36.8	5,000	△45.6	2,000	283.9	7.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 東洋輪胎(諸城)有限公司、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	254,358,146 株	23年3月期	254,358,146 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	310,662 株	23年3月期	307,234 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	254,048,984 株	23年3月期1Q	254,059,657 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なることがありますことをご承知おください。業績予想の背景及び前提となる条件等については、添付資料P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) セグメント情報	9
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ① 当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、海外においては、新興国を中心に景気回復基調にあるものの、欧米では原油価格の高騰や欧州債務問題、個人消費の低迷などによる景気回復基調の減速、中国でもインフレ抑制のための金融引き締めにより成長スピードが鈍化するなど回復ペースは緩やかになりました。日本においては、東日本大震災（以下、震災）の影響に加え円高傾向の継続や原油価格の高止まりなど厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは平成23年度からの5ヶ年計画「中期経営計画'11」の初年度として、成長市場へのスピーディーな事業拡大、最適供給体制の構築、高付加価値商品の拡販、環境配慮技術の具現化、更なる生産合理化の推進などに取り組みました。

震災の影響により、東北地方3工場の操業が一時的に全面停止するなど大きな被害を受けましたが、グループの総力をあげた復旧作業による早期の操業再開や積極的な販促活動などにより売上高への影響を少なくすると共に、限られた生産・販売能力を高付加価値商品にシフトさせるなどの対策で収益の向上を図りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は703億52百万円（前年同期比18億9百万円減、2.5%減）、営業利益は31億55百万円（前年同期比5億42百万円増、20.8%増）、経常利益は25億53百万円（前年同期比11億53百万円増、82.4%増）、四半期純利益は8億53百万円（前年同期比1億10百万円増、14.8%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

## ② 事業別の状況

## 〔タイヤ事業〕

タイヤ事業の売上高は537億87百万円（前年同期比6億90百万円増、1.3%増）となり、営業利益は29億2百万円（前年同期比9億6百万円増、45.4%増）となりました。

## （国内新車用タイヤ）

震災の影響により国内自動車生産台数が大幅に減少したため、販売量・売上高とも前年同期を大幅に下回りました。

## （国内市販用タイヤ）

売れ筋商品である汎用品の生産が震災の影響で減少したため、販売量・売上高とも前年同期を大幅に下回りました。

## （海外市販用タイヤ）

北米市場においては、高付加価値商品の販売が好調に推移したことや値上げを実施したことにより、販売量は前年同期を上回り、売上高は前年同期を大幅に上回りました。欧州市場においても、高付加価値商品の販売増加及び値上げの実施により、販売量・売上高とも前年同期を上回りました。一方、中国・東南アジア市場においては、震災による工場の生産本数減少の影響を受け、販売量・売上高とも前年同期を大幅に下回りました。その結果、海外市場全体では販売量は前年同期を下回りましたが、売上高は高付加価値商品の販売拡大により前年同期を上回りました。

## 〔ダイバーテック事業〕

ダイバーテック事業の売上高は165億42百万円（前年同期比25億16百万円減、13.2%減）となり、営業利益は1億27百万円（前年同期比4億78百万円減、79.0%減）となりました。

## (輸送機器分野)

自動車用防振ゴム及び自動車用シートクッションについては、震災の影響により自動車メーカーが減産したため、売上高は前年同期を大幅に下回りました。鉄道車両用空気バネ及び鉄道車両用防振ゴムについては、国内補修市場での販売は低調でしたが、新型車両への販売が好調だったこともあり、売上高は前年同期並みとなりました。

## (断熱・防水資材分野)

断熱資材分野については、震災の復興需要として仮設住宅や冷蔵庫向けの硬質ウレタン原液の販売が急増したため、売上高は前年同期を大幅に上回りました。一方、防水資材分野については、震災により関東圏・関西圏の市場が縮小したことや原材料の調達が不安定になるなどの影響があったため、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

## (産業・建築資材分野)

産業資材分野については、震災の復興需要もあり標準防振ゴム・道路資材用ウレタン商品の販売が好調に推移したため、売上高は前年同期を大幅に上回りました。建築資材分野については、建築免震ゴムで積極的な営業活動を展開した結果、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,248億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ196億5百万円増加しました。これは、主として、製品等の棚卸資産や売上債権が増加したことに加え、成長市場への投資等に伴って有形及び無形固定資産等が増加したことによります。

また、負債は2,429億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ172億51百万円増加しました。これは、主として、借入金等が増加したことによります。なお、有利子負債は1,352億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ170億93百万円増加しました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は819億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億53百万円増加しました。これは、主として、為替換算調整勘定等が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、24.4%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、震災による影響に加え、為替の円高による影響等が想定されますが、被災工場における操業の早期立ち上げの実現、また、主として北米及び欧州市場における高付加価値商品の販売が好調に推移したこと等により、前回(平成23年5月10日)発表時の業績予想を上方修正しております。

詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、新たに出資持分を取得した東洋輪胎（諸城）有限公司を連結の範囲に含めております。なお、同社は当社の特定子会社となっております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

一部の連結子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,074	27,416
受取手形及び売掛金	54,431	59,412
商品及び製品	28,788	35,220
仕掛品	2,633	2,847
原材料及び貯蔵品	9,989	10,548
その他	11,549	11,381
貸倒引当金	△312	△261
流動資産合計	135,154	146,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,796	39,909
機械装置及び運搬具(純額)	48,748	52,918
その他(純額)	36,194	36,186
有形固定資産合計	123,740	129,014
無形固定資産		
のれん	4,508	3,331
その他	2,065	5,296
無形固定資産合計	6,574	8,627
投資その他の資産		
投資有価証券	32,032	33,159
その他	8,294	8,033
貸倒引当金	△505	△506
投資その他の資産合計	39,821	40,687
固定資産合計	170,135	178,329
資産合計	305,290	324,895

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,577	55,970
短期借入金	33,118	44,407
1年内償還予定の社債	10,000	15,000
未払法人税等	916	806
未払金	12,553	13,740
製品補償引当金	224	211
災害損失引当金	973	452
その他	12,773	15,392
流動負債合計	130,137	145,982
固定負債		
社債	18,000	13,000
長期借入金	55,992	61,829
退職給付引当金	13,243	13,202
その他の引当金	171	172
その他	8,137	8,747
固定負債合計	95,545	96,951
負債合計	225,683	242,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,484	30,484
資本剰余金	28,507	28,507
利益剰余金	21,007	20,590
自己株式	△104	△105
株主資本合計	79,894	79,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,785	7,528
繰延ヘッジ損益	△170	5
為替換算調整勘定	△8,974	△7,603
その他の包括利益累計額合計	△2,359	△69
少数株主持分	2,072	2,553
純資産合計	79,607	81,961
負債純資産合計	305,290	324,895



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	72,162	70,352
売上原価	52,348	50,758
売上総利益	19,813	19,594
販売費及び一般管理費	17,201	16,439
営業利益	2,612	3,155
営業外収益		
受取利息	16	33
受取配当金	251	302
持分法による投資利益	56	39
受取補償金	—	200
その他	205	329
営業外収益合計	528	906
営業外費用		
支払利息	535	586
為替差損	620	438
その他	584	483
営業外費用合計	1,741	1,508
経常利益	1,399	2,553
特別利益		
受取保険金	—	300
特別利益合計	—	300
特別損失		
固定資産除却損	58	75
災害による損失	—	770
特別損失合計	58	845
税金等調整前四半期純利益	1,340	2,007
法人税等	484	1,028
少数株主損益調整前四半期純利益	856	979
少数株主利益	112	125
四半期純利益	743	853

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	856	979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,781	742
繰延ヘッジ損益	245	175
為替換算調整勘定	381	1,475
持分法適用会社に対する持分相当額	16	27
その他の包括利益合計	△2,137	2,421
四半期包括利益	△1,281	3,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,439	3,144
少数株主に係る四半期包括利益	158	256

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額
	タイヤ事業	ダイバーテ ック事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	53,089	19,054	72,144	17	72,162	—	72,162
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	3	11	54	65	△65	—
計	53,097	19,058	72,155	72	72,228	△65	72,162
セグメント利益 (営業利益)	1,995	605	2,600	23	2,624	△11	2,612

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額
	タイヤ事業	ダイバーテ ック事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	53,783	16,535	70,319	33	70,352	—	70,352
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	6	10	52	62	△62	—
計	53,787	16,542	70,329	85	70,415	△62	70,352
セグメント利益 (営業利益)	2,902	127	3,029	30	3,060	94	3,155

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内関係会社に対する融資及び債権の買取、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は前第1四半期連結累計期間△11百万円、当第1四半期連結累計期間94百万円であり、セグメント間取引消去等が含まれております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。